

いわみざわ

2012年スタート



発行所 隊友会岩見沢支部
編集 陸上自衛隊 岩見沢駐屯地
印刷所 福祉村 岩見沢市栗沢町
最上350
TEL(0126)45-2721

平成二十四年訓練始め

一月四日、平成二十四年を迎えるの第十二施設群訓練始めとして、スキー記録会が孫別演習場で実施されました。年末年始休暇が終了し本格的に体を動かす隊員がほとんどの中、第一組目をスタートに始まり時より吹雪の中での記録会となりましたが新補職者を含む二五七名が参加し、各人精一杯の滑りをし無事終了しました。



司令新年のご挨拶



第十二施設群長兼岩見沢駐屯地司令

一等陸佐 野路 敬也

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。さて、昨年は、ご承知の通りではありますが、東日本大震災に伴い、当駐屯地から約二百五十名の隊員が東北地方に派遣され、約四ヶ月間、主として宮城県気仙沼市において災害派遣活動を実施しました。重機材による行方不明者の捜索、瓦礫の除去、腐敗した水産加工物の海洋投棄のための道路整備及び仮設住宅用地の整備、そして車両・重機材の継続的な行動を可能とする整備支援等であります。この間、皆様には多種多様のご支援と励ましをいただき、無事任務を達成することができました。本当にありがとうございます。今後も、災害派遣任務はもとより、防衛任務等に迅速に対応するため、日頃から厳しい訓練を実施し「有事即応」にして「強靱な部隊」を育成して参りたいと考えております。

一方、本年につきましては、第十二施設群が訓練検閲を受閲するとともに、北部方面施設隊の訓練検閲にも参加します。また、当駐屯地からは、新たに南スーダン派遣施設隊の主力部隊として活動する予定であります。現在色々な正面において調整中であることから、具体的な内容、特に派遣人員及び時期については申し上げることができませんが、少なくとも岩見沢駐屯地の運営に少なからず影響があることは間違いありません。

平成二十四年度の岩見沢駐屯地の活動計画については、今後審議・策定予定であります。昨年同様に、岩見沢・三笠両市民のお役に立てるよう、引き続きできる限りの協力を実施したいと考えております。

いづれにしても、本年は昨年に引き続き多忙な一年になると思われます。我々の活動にはOBの方々、そして各協力者の方々のご支援は欠かせません。併せましてご家族のご理解とご家族の健康が必要です。隊員が後顧の憂いなく活動できる基盤を引き続き与えてください。駐屯地を代表する者として心からお願い申し上げます。

最後に、本年皆様にとって素晴らしい年となることを心から祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

年 頭 の 辞



隊友会岩見沢支部

支部長 白根 謙一

隊友会岩見沢支部の会員の皆様、岩見沢駐屯地の隊員及びご家族の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は四月より隊友会の長年の念願でありました、「社団法人」から「公益社団法人」となり、公益法人格を取得することが出来ました。隊友会としても、現役自衛官及び先輩諸兄の平素のご努力が報われた思いで大変喜ばしい限りです。国民（市民）と自衛隊の架け橋として更に公益に寄与できる会（支部）にしていきたいと思っています。

昨年の東日本大震災以降、自衛隊の任務も多様なものとなり現役隊員の訓練も一段と厳しくなるものと思われませんが、岩見沢支部として尚一層の支援・協力をしていきたいと思っています。今年には道内の施設科部隊がPKOとして南スーダンへ派遣されるやに伺っております。任務の成功と無事の帰国をお祈りしています。

岩見沢支部の隊友会活動に際しては、これまで以上に駐屯地との連携・会員個々の身上の変化等の把握に努め各種隊友会事業を実施してまいりたいと思います。又、地域に密着したボランティア等の公益性のある活動にもより多く参加するよう留意して公益性の実を挙げたいと考えておりますので、本年も支部の活動にご協力・ご支援をよろしく願います。

最後に皆様のご健康とご発展を祈念いたしますとともに、楽しい良い年なりますようお祈り申し上げ念頭の挨拶といたします。

秋季演習場定期整備を実施！（24時間態勢で）

平成二十三年度秋季演習場定期整備が十一月三日から十三日までの間、矢白別演習場及び孫別演習場で実施された。本演習場整備において群長は、「水たまりゼロ、不陸ゼロ、事故ゼロ」の三点を要望した。また、矢白別、孫別ともに二十四時間態勢で整備を行い、装輪道、装軌車道、溜枌、草刈り等の各種整備を実施した。整備間は天候に恵まれ、要望事項を完遂すべく隊員が一丸となって機械力のみならず人力で整備を行った。矢白別演習場においては、七日に北部方面施設隊長（渡邊一佐）、十日に北部方面（第五旅団長田口将補）、十二日に方面總監（千葉陸将）の実視を受け、孫別演習場は、方面幕僚副長（本末将補）の実視を受け、それぞれ無事終了した。



編成完結式（矢白別演習場）

孫別演習場整備

矢白別演習場整備



夜間整備（外柵沿い）



夜間整備（装輪道）



チェーンソーを使用して



現場での中隊長の指導

総合戦闘力演習に参加して



第三四二施設中隊
二曹 土屋 涼繁

中隊は、平成二十三年九月十二日から二十五日までの間、北海道大演習場において方面総合戦闘力演習に参加しました。

任務は被支援部隊の要望に応えながら、大小さまざまな大きさの掩壕を構築しました。又、演習間、中隊訓練の場を設けて地雷原の構成及び戦車崖の構築を実施しました。掩壕の構築では、後輩隊員と二名一組となり、適時適切なアドバイスを与え任務を完遂することが出来ました。又、障害構成では、分隊長となり地雷原構成を指揮して所望の時刻までに完成することができました。

今回、指揮指導する立場として演習に参加したが、大変 勉強になる事が多く、与えられた命令に対して、任務分析、やるべき事など一歩・二歩先の事を考えて行動しなければならぬと実感しました。

今後も、経験・知識を身につけて中隊の任務達成のために努力精進していきたいと思っています。



対戦車崖の構築

小隊訓練検閲に参加して



第三二二施設器材中隊
三曹 新岡 千春

私は、今回小隊訓練検閲に油圧ショベル操縦陸曹として参加しました。

検閲前までは、期間内に任務が達成できるか不安でした。その理由は、使用予定であった油圧ショベル二台のうち一台が故障し、その代替器材として装輪式の油圧ショベルを使用する事になった事です。装輪式は足場の悪い場所での活動に全く不向きだからです。不安を抱えつつの参加でしたが、他の部隊等から機力等を借用し無事期間内に任務を達成することができました。

野外病院施設の構築は、掘削する数も多く、また大きい物もあり二十四時間態勢で掘削を行いました。

その活動期間、何度も熊出没の情報を耳にしました。しかし、油圧ショベル等大きな音を出す施設機材が動いているので、全く気にせず活動を実施していました。休憩中に現場に熊が現れたとの情報が入り、その時現場にいた隊員から、活動中の油圧ショベルの数メートル先を堂々と歩いて行ったと聞きました。あれほどの音の大きい施設器材が動いているのに逃げないという事が予想外で、注意は必要だなと感じました。怪我人等がでなかった事が幸いだと思います。

今回の小隊検閲で学んだ事は、いかなる時にも対処出来る様に考えておく事です。今後の訓練で同じような事が起きても冷静に対処出来る様に日々努力していきたいと思っています。



熊出没の中での活動

中隊持続走副監督として



第三三七施設中隊
三曹 坂田 伸幸

私は平成二十三年度中隊後継者・持続走副監督として上番しました。

上番中隊が優勝するためにはどうすべきか、自分にできることは何かを考え、教官・助教と共に取組んできました。

多忙な訓練の中、訓練と戦技を両立させることは難しく、間稽古等を活用しビルドアップやペース走等、厳しいメニューを計画実行し、人によっては走ることが嫌になったり、タイムが伸び悩んだり、怪我に悩まされたり様々なことがありましたが、誰一人文句を言わず「群持続走競技会」「中隊優勝」というただ一つの目標に向かって一生懸命練習に励んでくれました。

その結果、十月に行われた群持続走競技会では、中隊は総合準優勝と優勝にあと一步届きませんでした。監督・助教を始め、中隊の皆が心をひとつにして走り、勝ち取った価値ある準優勝でした。あの時の興奮と感動はいまでも忘れられません。

今年の競技会は終わりましたが、終わった今が一番大事な時です。今回満足いく結果を出せた人、悔しい思いをした人、人それぞれ思いはありますが、来年に向けた目標の設定を行い、来年度には、優勝を勝ち取るべく皆で頑張っていきたいと思っています。



競技会でのゴール前での力走

部隊配属になって



第2直接支援中隊
一士 千葉 翔太

私は、後期教育を終了し九月十六日付で第一〇一施設直接支援大隊 第二直接支援中隊に配属となりました。

自分は、一年目で何も解らないなりに「与えられたらそれを頑張る姿」を見せている良いという考えで、「解らないから出来ない」と決めていたと思っていました。積極性が欠けていたと思います。しかし先輩や上司は、あえて直接注意せずに、どういった行動をとるか、どういった言動をするかを黙って見ているのだと思います。配属されたが、教育より辛いと思った時もありましたが、自衛隊に限らず他の職業でも言えることだと思いましたが、自分から率先して動き、物事を考え行動することがいかに重要か解りました。

これからもっと解らないこと、難しい事がたくさんあると思いますが、メモを取りノートに写すなど一日も早く上達し、自分一人でも出来るよう頑張っていきたいと思っています。



新隊員後期教育時の千葉1士

いわみざわ

ひと、いえ、くるま。JA共済には、暮らしの保障のすべてが揃っています

JA共済は、相互扶助「助け合い」を理念とした協同組合保険。

営利を目的としないので、納得のいく掛金で

大きな保障が得られます。

岩見沢市2条西1丁目1番地

TEL 0126-25-2211

Gibraltar
ジブラルタ生命

私たちはブルデンシャル・グループの一員です。

ブルデンシャルは、130余年の歴史を持つ米国最大級の金融機関であり

世界の顧客に幅広い金融商品・サービスを提供しております。

ジブラルタ生命保険株式会社

岩見沢支部

〒068-0024 岩見沢市4条西4丁目 グレイズ寺江ビル4F

TEL:(0126)22-4875 FAX:(0126)22-5734

P u b
あおき

岩見沢市2条西2丁目

TEL 0126-24-8085

隊員紹介



第三一二施設器材中隊

二曹 佐々木 力弥

佐々木二曹は中隊において、架橋小隊の架橋班長として活躍しています。日頃は、中隊の中堅陸曹として若手隊員の先頭に立ち訓練及び恒常業務等を実施する一方、休憩時間においては、冗談交りの話上手で中隊の中心的存在です。

また、今年は格闘の部隊指導官を取得し、中隊を問わず群の隊員に対しても、課業内外に熱心かつ懇切丁寧な指導を実施しており、群の格闘の練度向上に大きく貢献しています。

(紹介者 先任上級曹長 鹿子木曹長)



壮行会(拳法)での決意表明(写真左)

総合戦闘力演習で警戒中?(写真右)



隊友だより

岩見沢支部忘年会を実施

隊友会岩見沢支部(支部長白根謙一氏)の平成二十三年度忘年会が隊友会員四十九名、現職隊員十七名が参加し、市内「平安閣」で行われました。忘年会に先立ち白根支部長の挨拶、第十二施設群長兼岩見沢駐屯地司令野路敬也氏、副支部長蔵本久男氏による現職自衛官の紹介と続き、駐屯地業務隊長村上賢治氏の乾杯で祝宴に入りました。会場は、隊友会員と現職の皆さんとが和気藹々と話され時間の許す限り懇親を深めました。

最後に、隊友会岩見沢支部顧問細川金治氏の「頑張ろう」のかけ声でお開きとなりました。



駐屯地司令挨拶



支部長挨拶



お酒も加わり話も弾みます



2次会へ出発

岩見沢支部恒例「ボーリング大会と懇親会を実施」

隊友会岩見沢支部(支部長白根謙一氏)恒例の「ボーリング大会と懇親会」十一月五日(土)市内ボルタトーホールで開催されました。

ボーリング大会は隊友会員二十三名と駐屯地から石井援護担当官が参加して、全員が緊張感をもって楽しく汗を流しながら二回のゲームに挑戦しました。結果は、第一位田代繁之氏で同氏は例年上位を維持しており、現役時代の訓練の成果を古希を過ぎても遺憾なく発揮しております。ボーリング大会終了後は、場所を市内の居酒屋に移し途中からの参加者を含め二十九名が参加し懇親会を開催し、互いの近況を語らい、和気藹々のうちに終了しました。

駐屯地からの参加者は秋季演習場定期整備期間中であるため、石井援護担当官の一名でしたが話を通じて駐屯地部隊の現況を見ることができました。



左から佐藤(克)氏、村形氏、



一球入魂池田氏



お車のことなら しっかりサポート

各種車両・中古車販売・板金・塗装・車検



東京海上日動火災保険代理店

大和マイカーセンター
代表 吉田 金清

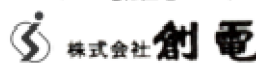
岩見沢市北2条西20丁目2番12号

TEL 0126-25-2024 FAX 0126-25-2024

(夜間:自宅) 岩見沢市北2条西20丁目2番12号

TEL 0126-24-4576

オール電化住宅のコンサルタント



本社

〒060-0852 岩見沢市大和2条2丁目17番地5 Tel(0126)-22-1434

Fax(0126)-24-9155

札幌営業所

〒064-0652 札幌市厚別区厚別西2条2丁目13番14号 Tel(011)-895-7755

三笠営業所

〒086-2064 三笠市いちきし16-8

Tel(01267)-3-1141

防衛省 職員 団体 障害 保険
家族

団体長期傷害所得補償保険「長期所得安心くん」

防衛省 退職後 団体障害保険

防衛省 共済組合 がん 保険
団体取扱

お見積・資料請求 <http://webby.aflac.co.jp/boue/>
お申し込み・お問い合わせ先
岩見沢駐屯地厚生科内(内線338)

弘済企業(株) 保険常駐員 池田 哲夫



年男の抱負



業務・戦技等、何事も前向きに取り組む 本管中 長谷川一曹	羊蹄山に登ってみる 本管中 石川二曹	怪我や事故に気を付け、家庭を大事にしつつ訓練に頑張りたいと思います。 本管中 浅野二曹	体力の向上と腹筋六分割 三三五中 細野二曹	健康第一 三三五中 箱山二曹	体調管理を十分にして今年一年を乗り切る 三三五中 安田二曹	健康第一 勉強毎日 三三五中 長谷三曹	後輩に信頼される先輩となり、必ず陸曹になる。 三三五中 水流士長	心機一転、公私共に意欲的で充実した一年にする 三三五中 奥田一士	自衛隊生活二回目の年男三回目に向けこれからも頑張ります 三三六中 中山一曹	「無駄に年を取らぬよう日々精進」 三三七中 西原一曹	「変わらず、いつも通り」 三三七中 田中二曹
「もう一度、妻を口説く」 三三七中 佐々木二曹	「今まで以上に明るいい人になる」 三三七中 堤二曹	「立派な陸曹になる」 三三七中 小野田士長	「二年連続検閲優秀隊員」 三三七中 佐々木士長	今年は、怪我等しない様に訓練・戦技等頑張っていきたいと思います。 三一二施器中 新岡三曹	十八歳で入隊して、もう三十六歳になりました。年々、体力が低下が進んでいます。以上体力が落ちない様に頑張ります。 三一二施器中 大内三曹	今年には体力錬成をして、同時に体重の減量にも努めていきたいと思います。 三一二施器中 脇岡士長	自己能力の向上と中隊の円滑な運用 三〇二坑中 池田二尉	何事も挑戦!! 三〇二坑中 山上一曹	国際貢献活動で頑張る 三〇二坑中 松坂二曹	頑張ります 三〇二坑中 上村二曹	



年男として、ぐんぐんと昇り龍のようにと書きたいところですが、ホップステップジャンプのステップイヤーです。で、しっかりと頑強な足場固めを本年の抱負したいと思います。

三十六歳ということで、自分の人生予定の三分の一が過ぎてしまいました。が、ここを区切りと反省して分析して、これからの残り七十二年に活かしていきたい所存であります。

業務隊 野口技官

やるべきことをやる

業務隊 田中技官

昨年デジタルカメラを購入したのですが、色々忙しく何処かに写真を撮りに行くことが出来なかった、今年は写真を撮りに道内を巡りたいです。

二直士中 山越士長

来年は良い年にする

三〇二坑中 北林士長

昨年よりも充実した年にする

三〇二坑中 作田三曹



をこころ 株式会社
TKK トッキュウ
Tokkyu
物流・・・
それは“まごころ”のネットワーク
本社 〒068-0115 岩見沢市栗沢町最上498-9
TEL 0126-45-2792 FAX 0126-45-3053
http://www.tokkyu-group.jp
(札幌/札幌北/苫小牧/東北/関東/中部)

SNACK
北の国から
飲み放題3000円(5名様から)
岩見沢市3条西2丁目ツタヤビル4F店 主 平 井
☎ 0126-(22)-8873

EVENT HALL
駅東市民広場
イベントホール赤れんが
多彩な催しにご利用いただける施設です。
お気軽にお電話ください。☎ 0126-22-5871
岩見沢市有明町南1番地7
株式会社 振興いわみざわ
代表取締役 北市 宗三

第十二施設群

大角
西賢
慎哉

(本群
管本
中部)

松村卓

(三三五) 中

島村 猛司

(三三六中)

土山智大

(三三五中)

第二直接支援中隊

給前則孝

吉川智

山口 弘

貝澤 静司

相原 良憲

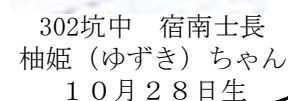
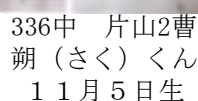
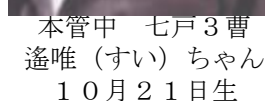
第九十三期一般幹部候補生（部内）合格
【第十二施設群】

二等陸曹

井幡

淳哉

本管中 甲斐2曹
音羽 (おとは) ちゃん
9月30日生



バラ園で
 結婚式を挙げませんか!!

お二人の想い平安閣が叶えます。

IWAMIZAWA
 HEIANKAKU

岩見沢市5条東2丁目 TEL. 0120(23-4581)

☎ i-heiankaku@hach.com.jp